

魁!! 智美塾

テストアーキテクチャ という考え方の提案

智美塾設立経緯とその後 壱

- ・智美塾とは、JaSST'09 Tokyoのクロージングパネルで提示されたテストライフサイクルを進化させつつ、塾長の厳しい指導のもと、塾生たちが自らの“テスト開発方法論”を目指し活動する梁山泊である。



- ・JaSST'10 Tokyoの智美塾セッションでも塾生同士の激しい議論を披露したのはご記憶のことと思う。

智美塾設立経緯とその後 弐

- ・その後智美塾では、テスト開発方法論の中核をなす“テストアーキテクチャ”について検討を重ねてきた。
- ・今回のJaSST'11 Tokyoではその成果として、“テストアーキテクチャ”という概念の提案とテストアーキテクチャ設計の考え方について智美塾なりの解説を行う。

智美塾の目的

- ・参加者それぞれが“テスト開発方法論”を構築すべく研鑽を重ねる。
- ・すなわち、“テスト開発方法論”の上位にあるメタな何かを探り理解することによって、自分なりに“テスト開発方法論”を理解し、より良く作りあげたり選択していくことができると思われる。
- ・以上について、参加者全員による議論や共通理解、同意を重ねて進めていく。決して一方通行の講釈ではない。

智美塾の塾長・塾生

- ・智美塾の構成員は以下の呼称を持つ
- ・塾長：吉澤
- ・塾生：智美塾で精進を重ねている者
 - ・二号生：塾生のうち、JaSST'09パネル登壇者および智美塾の中で独自のテスト開発方法論を発表した者の称号。
 - ・一号生：塾生のうち、一年以上に渡り智美塾で精進を重ねている者の称号。

本日の登壇者

塾長：吉澤

JaSST'09 パネル登壇者(二号生)：
秋山、鈴木(三)、にし、湯本

塾生(含む二号生、一号生)：
鈴木(貴)：二号生、河野：一号生
小山：一号生、坂：塾生
永田：一号生(照明担当)

本日の目的と狙い

壹. 目的

- ・ “テストアーキテクチャ” という考え方を
知ってもらい、親しみを持ってもらう。

貳. 狙い

- ・ “テストアーキテクチャ” という考え方を
用いることで、自社のテストの取り組みを
整理する一助にってもらう。
- ・ またテスト技術者同士が、
“テストアーキテクチャ” という言葉で
コミュニケーションできるようにする。

本日のお題と進め方

- ・ 塾生は事前に提示された題材について
テストアーキテクチャ設計を行ってくる。
- ・ 設計したテストアーキテクチャを
塾生が個々に発表し、登壇者全員で
議論を展開する。
- ・ 会場からの質問・意見は随時受け付ける

※ただし、流れに沿ったものであること

智美塾訓

1. 塾生はテスト開発方法論を目指し、
自ら技術獲得に励む事
2. 塾生は現場を尊び、
地に足の着いた技術論を行う事
3. 塾生は品質向上という最終目的を
常に意識した活動を行う事

議論の禁止事項 その壱

1. 経験やスキル、ノウハウに帰着させてはいけ
ない。(それをどう取り扱い可能にするかを議論している)。
2. 品質意識に帰着させてはいけない。
3. テストエンジニアやテスト技術の地位向上の
話をしてはいけない。
4. モチベーションやストレスの話をしてはいけ
ない。
5. 非技術的なコミュニケーションの話をしてはい
けない(技術的なコミュニケーションの話であればよい)。
6. 上流にどう貢献するかの話をしてはいけ
ない(それはとても重要なことだが、別の話題である)。

議論の禁止事項 その貳

7. 自動化の話をあまりしてはいけない。
8. 誰でもできるようになる方法が欲しいとい
う幻想を持ってはいけない。
9. 特定のテスト技法の話ばかりしてはいけ
ない。
10. メトリクスの話をあまりしてはいけない。
11. マネジメントやプロセス、チーム、ロー
ルの話をあまりしてはいけない。
12. 自分の経験の話をもっとしてはいけない。
13. 後ろ向きに議論したり、批判ばかりして
はいけない。

では、智美塾の始まりです

本日のまとめ

本日の目的と狙い(復習)

壹. 目的

- ・ “テストアーキテクチャ”という考え方を知ってもらい、親しみを持ってもらう。

貳. 狙い

- ・ “テストアーキテクチャ”という考え方をを用いることで、自社のテストの取り組みを整理する一助にしてもらう。
- ・ またテスト技術者同士が、“テストアーキテクチャ”という言葉でコミュニケーションできるようにする。

これからの智美塾

- 一年目：ソフトウェアテストプロセス
および
ソフトウェアテスト要求分析
- 二年目：ソフトウェアテストアーキテ
クチャ
- さて、三年目は、、、

来たれ！智美塾へ

- ・ 月一回程度、夜間に開催する(東京地区)。
- ・ 参加案内はTEF(テスト技術者交流会ML)およびASTER Webへ提示
- ・ 参加希望者は参加案内に記載される参加要件(智美塾への参加動機、あるいはその回のお題について四百字以上で記述すること、など)をよく読み、応募すること。
- ・ 他に参加資格としての要件はない。
腕に覚えのある者なら誰でも応募可能である。
- ・ 参加メールを塾長などで審議し、
資格ありと認められた猛者のみ参加を許される。